

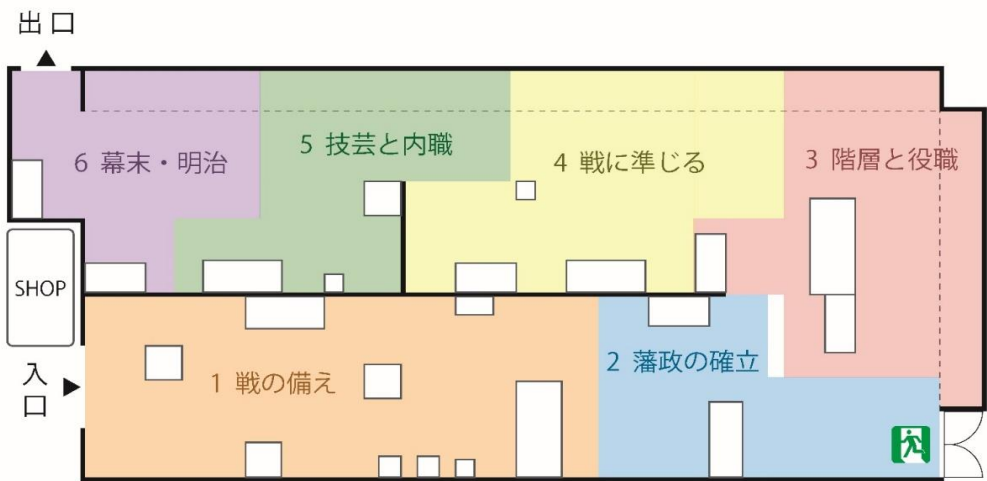
◎ は、初公開資料。展示資料はNo.52を除き、全て米沢市上杉博物館所蔵。No.52は当館寄託資料（米沢金剛会所蔵）。

* は2月18日（火）以降、展示替した資料。

No.	キャッチコピー	指定・資料群名	名称（指定）	員数	年代（ ）内は推定
1 戦の備え					
	1 上級藩士用、揃ってます		鉄錆色紺色系威二枚胴具足（芋川家伝来）	1領	桃山～江戸時代（16～17世紀）
*	2 中の下クラス		鉄錆色五枚胴具足（仁科清右衛門所用）	1領	江戸時代（18世紀）
	3 形も色もしっかりチェック	上杉文書	「武器御改帳」	1冊	寛政6年（1794）8月
◎	4 遠くからでも一目でわかる		「鈴木正庸」旗指物	1旒	江戸時代
◎	5 貸し出し用		紺糸素懸威桶側胴具足	1領	江戸時代
◎	6 一人前の証！？		陣羽織	1領	江戸時代（19世紀）
◎	7 えらい人用		丸に葉沢瀉紋入陣笠	1枚	江戸時代（19世紀）
◎	8 中級藩士用		黒漆塗丸に九枚笹紋入陣笠	1枚	江戸時代（19世紀）
◎	9 最下級の足軽用		突盔形陣笠	1枚	江戸時代
*	10 身分に応じて、戦闘配置！	上杉文書	「二之御備之図」	1敷	寛文12～延宝2年（1672～74）頃
	11 平和だが貧しき中での戦支度	上杉文書	「御当家御軍列」	7冊	明和3年（1766）3月13日
2 藩政の確立					
◎	* 12 直江執政のもとで	国宝「上杉家文書」	池田惣三・渋谷弥兵衛宛 直江兼続書状	1通	（慶長18年・1613）4月5日
◎	* 13 2人の家老に直接指示		清野長範・嶋津利忠宛 上杉定勝書状	1通	（寛永11年・1634）4月22日
◎	* 14 藩主自ら、あれこれ指示を		上屋政真・売間尚直宛 上杉定勝書状	1幅	（寛永2年・1625ヵ）8月4日
◎	* 15 今後のために調査せよ	池田文書	池田政次・嶋田正信宛 上杉定勝書状	1通（1巻）	（寛永11年・1634）閏7月14日
	16 以後、先例となった会津出兵	上杉文書	「元萬略記 完」	1冊	寛永20年（1643）5月3日条
*	17 領主でも、村を苦しめちゃダメ	上杉文書	長井郡諸給人納方条書	1通	寛永20年（1643）11月
3 階層と役職					
◎	18 軍事こそ藩士編成の基本		分限帳 写	1冊	原本：承応2年（1653）8月
◎	19 知行取は二割だけ		「出羽国置賜郡之内高辻帳・家中分限帳」	1冊	享保10年（1725）
◎	20 守衛こそ平時の本務	中津川家文書	与板組御広間番記録	1通（1綴）	（安政4年・1858 閏5月）
◎	21 階級あつての組織の秩序	武藤家文書	「御家中階級」	1冊	嘉永3年（1850）7月
	22 改革を支えた多彩な人材	上杉文書	甘粕継成編「本藩中興名臣録」	3冊	江戸～明治時代（19世紀）
◎	23 組の格は意地でも守る	丸山家伝来雲井龍雄関係文書	柿崎家孝宛 雲井龍雄書状	1通	（慶応元年・1865）6月25日
◎	24 米沢と江戸の家老間で		中条清資宛 平林恒広書状	1通	（享保6年・1721）閏7月17日
	25 城から役所へ、変わる役割	上杉文書	本庄職長「鮎貝御役屋勤式」	1冊	明和5年（1768）9月
	26 在地の有力者	上杉文書	「萬留書之帳」	1冊	明暦3年（1626）12月24日条
◎	27 税金・戸籍・助成金の事務	蓼沼文書	「天保十三年御済口留」	1冊	天保13年（1842）4月27日条
◎	28 優秀な官僚、晩年の姿	小嶋家資料	小島熊蔵像	1幅	安政6年（1859）
◎	29 普段の勤務用	古川家資料	袷	1領	江戸時代（19世紀）
◎	30 年利4.8%の積立預金		「酒田本間正五郎江御預金留帳」	1冊	寛政9年（1797）8月
◎	31 お米足りるか、シミュレーション	黒井繁邦文書	勘定定法書	1冊	天保元年（1830）頃
◎	32 ベテラン同心のキャリア		町奉行所同心日記	1冊	文政9年（1826）12月10日条
◎	33 緊急用の備蓄倉庫		義倉棟札	1枚	文政10年（1827）8月
◎	34 森林資源を守ろう		高札	1枚	天明8年（1788）
◎	35 流通の拠点と国境を描く	高梨源五郎家資料	「荒砥舟渡方大瀬御境目絵図」	1敷	江戸時代（18～19世紀）
	36 記録を廃棄せず、活用す	上杉文書	御記録所「御政事書上」	3冊	安永7年（1778）12月23日条
◎	37 上杉家と上級藩士の物語	伊藤芳夫収集文書	甘粕継成編「米沢新史」稿本	5冊	（慶応2年・1866頃）
◎	* 38 女性向けのルール	国宝「上杉家文書」	江戸奥向法度書	1通	（年未詳）西4月
◎	* 39 小姓頭のマニュアル		甘粕継寛筆 荏戸善政「米沢の枝折」写	1冊	筆写（文政年間・1830頃）
◎	40 作法と儀礼のエキスパート	楡井家文書	楡井安元宛 鐘聞堂重光「萬積方之図」	1通	正徳5年（1715）10月

No.	キャッチコピー	指定・資料群名	名称（指定）	員数	年代（ ）内は推定
4 戦に準じる					
* 41	京都での火災情報		中條知資・安田清元宛 竹俣義秀・長尾景光連署状	1通	（寛文13年・1673）5月15日
◎ 42	江戸藩邸から逃げ出す者も		黒井忠寄宛 荏戸善政書状	1通	（寛政9年・1797）12月9日
◎ * 43	江戸桜田の米沢藩上屋敷前		「泥絵 上杉」	1枚	江戸時代（1820～60年頃）
◎ * 44	江戸までのポイントをチェック		米沢江戸 道中図屏風	6曲1隻	江戸時代（1840～50年頃）
◎ * 45	江戸で築いた人脈		藁科家書状貼交屏風	6曲1隻	江戸時代（18～19世紀）
◎ 46	上級藩士が威儀を正して	栗林家資料	火事装束	一式	江戸時代（19世紀）
◎ * 47	陪臣用	古川家資料	烏帽子形火事頭巾	1頭	江戸時代（19世紀）
◎ 48	火災時の持ち場を定める		「火事有之節二之丸三之丸御廟火防請取場所之定」	1通	寛政11年（1799）6月
5 技芸と内職					
◎ 49	血筋より、能力重視で	黒井繁邦文書	「秘録」	1冊	江戸時代（19世紀）
◎ 50	殿様に、はしかの診断	伊東家文書	「御容体書」	1通	（年未詳）7月12日
◎ 51	米沢の絵師と幕府の儒者		目賀多雲川筆 聖賢図	3幅	江戸時代（18世紀初頭）
* 52	舞い、謡う武士	米沢金剛会寄託資料	紺地袷熨斗目	1領	江戸時代～明治時代
◎ 53	米沢の郷土刀		刀 銘（表）於東都長寿齊綱俊長運齊是俊 （裏）万延元年極月	1口	万延元年（1860）12月
◎ 54	お抱え大工の仕事		大工頭覚留帳	1冊	延享3年（1746）8月13日条
◎ 55	軍事は政治に通ず	栗林家文書	印脈・守尊・貫軸	各1幅	江戸時代（18世紀中頃）
◎ 56	砲術を通じた他藩との交流		小野里長保宛 武衛流砲術伝書	1巻	寛政7年（1795）正月吉日
◎ 57	貧しさを楽し気に描く	宮島家文書	伝宮島誠一郎筆 貧時難行図	1幅	明治時代（19世紀）
	58 戦いが近づくも、野菜作りに励む	宮島家文書	宮島吉利「年中萬留帳」	1冊	慶応4年（1868）閏4月2日条
◎ 59	お金を素早く数える	古川家資料	銭樹	1点	慶応2年（1866）12月 墨書
◎ 60	多彩な武士の内職事情	古川家文書	「清野大学下屋敷家業歳附面附帳」	1冊	安政4年（1857）4月
◎ 61	筆の内職、儲かります！	楡井家文書	「米沢方筆送控帳」	1冊	安政4年（1857）
6 幕末・明治					
	62 庄内藩の政治動向を探れ		雲井龍雄日記屏風	2曲1隻	（慶応3年・1867）
◎ 63	スキルアップでチャンスを掴め	栗林家文書	栗林政克「記録 附徒目付触 一～五」	5冊	慶応元年（1865）3月1日条
	64 近代化した上杉軍団	上杉文書	「諸口御固 最上越後御出勢人数」	1冊	明治元年（1868）5月1日条
◎ 65	藩主を守る親兵隊の証	楡井家文書	○に二紋 旗	1旒	明治元年（1868）頃
◎ 66	藩主を守る親兵隊の証	楡井家文書	○に二紋 肩章	2枚	明治元年（1868）頃
◎ 67	後ろから見るとおしゃれ		夏用軍服上着	1着	明治3年（1870）頃
	68 一目でわかる新たな部隊編成	上杉文書	「軍政便覧」	1敷	（明治2年・1869）
◎ 69	名前も変わる、役割も…	楡井家文書	「官員録」	1冊	明治3年（1870）10月
◎ 70	結束し仕事と生活を守る		米沢興産社関係資料	3冊	明治4～17年（1871～83）
◎ * 71	明治期にも続く土族の活躍		「一市三郡有名一覧」	1枚	明治25年（1892）11月10日

コレクション展「米沢藩 武士のお仕事」案内図



ギャラリートーク（展示解説）

3月7日（土）「米沢藩士の仕事百景」

・14時～、企画展示室にて。

・要コレクション展入館料。

最新情報はこちらをチェック☒



ホームページ



Twitter
@uesugi_museum